

意識高めてゼロ災害

草別組と草友会 安全大会

【小樽発】(株)草別組(岩内、小松知史社長)と草友会(平野孝明会長)は26日、岩内地方文化センターで、労働安全衛生大会を開催した。写真。160人が参加し、ゼロ災害の達成に向けて意識を高めた。

安全大会開始前には、無災害表彰を挙行。土木部の奥野峰史係長、建築部の工藤剛係長を表彰した。

安全大会では、小松社長があいさつ。「機械との接触や高所作業など、建設業には危険要因が多く潜んでいる」とし、安全衛生意識

のリスク低下措置の充実・強化の重要性を伝え「基本に立ち返り、安全を最優先する」ことを強調。「きょう講話を通じて、知識を深め、意識を高めてゼロ災害の達成に役立てて」と呼び

かけた。

平野会長は「管理体制の再確認と安全意識の定着が求められている」とした上で、現場の重点施策を確実に執行するよう求めた。



引き続き、優良協力業者の大和建設運輸㈱、(株)遠藤鉄工所を表彰したほか、岩

内警察署の下里敬輔署長が、飲酒運転の撲滅やヒヤリハットを共有して、大きな事故につながらないよう呼びかけた。

このあと、交通安全に関わるDVDの視聴、

田明広交通係長、小樽岩基署俱知安支署の星川勉支署長が交通安全、安全衛生の講話を行った。最後に、同社土木部の佐藤峰史氏が労働災害防止のための提言、奥野氏が安全決議宣言を行い、無事故・無災害の達成を誓った。